

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅 042-795-7361



充実した議会活動

担当者に答えさせると言う市長の不遜さ

近議会の最初の質問者の質問（3問）に対して、市長は壇上に立ち、「担当者に答えさせます」とだけ言って、降壇しました。次の議員にも同じでした。前議会を振り返っても、大半の質問者に同じような対応でした。

私はこうした市長の態度は、議員がそれぞれの市民の声を体現した意見・主張に対して、不遜だと広言しています。*私に対しても大半が同じ対応ですが、私が市長を指名もしていないでも答弁することがあります、極端なケースでは、私の発言回数が制限される最終登壇質疑に対して、突然、別のテーマの反論発言をしたこともあります。議員が再度の発言ができない場面を利用して発言を行うなど、吉田と石阪市長の間は、不思議な関係、対応だと思っています。

総じて、石阪市長は、議員の発言に対して、真摯に向き合う気がない、市民の声を正面から聞く気が極めて薄いと感じています。他方で、市長にすり寄る市民、団体が大好きでその趣旨の質問には、まるで違った反応で自ら答弁を行うのが石阪市長の特質のようです。市長選挙を圧倒的に勝ち抜いた力がそうした不遜さを現すのでしょうか。議会での現状を改善する兆候が見られないのが残念です。



現実が高齢者の市民税負担の方が大(1)

以前から議会でも取り上げてきた世代間の問題に、世代別の税負担はどうなっているのか、本当に高齢者が、生産年齢人口（15歳から64歳）に支えられているというのは間違っていないか！というものがありました。ただし、それに沿った数値の積算は行政から全く提示されませんでした。



いつでも講演が可能な体制を準備

ところが、先月の12月に町田市議会の研修会に講師で来られた、「三鷹市総務部調整担当部長 一條義治氏」の提示資料に、その明白な反論と見なされるものがありました。その年齢区別の個人市民税納税義務者の割合という資料によれば、15～19歳はわずか0.7%でした。ある意味、これは高校進学ほぼ全員であること、さらに大学・短大及び高専・専門学校を含めて80%の進学率になっている（文部科学省統計資料）ことから当然のことでした。また、同氏の別資料を読み込み、一人当たりの納税義務者個人市民税収額を見ると、3-34歳の世代は、個人給与額が年間で450万円以上ですが、65歳以上のどの世代より市民税の税収額が低く、「若い世代が高齢者を支えている」という俗説は、税収の観点で見ると現実の姿では無いことが把握できました。（次回に続く）

★ 政党は所属せず、市議会は「保守の会」で活動

yoshidaben@gmail.com



URL <https://yoshidaben.jp> 動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben> メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）

3期連続TOP当選！ 町田市議 吉田つとむ (社会体験)インターンシップ生募集中！！



個別対応スタイルが好評の研修メニュー

連絡先 mail: yoshidaben@gmail.com
〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12
サンホワイトE103-13

TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

仕事先 〒194-8520 町田市森野2-2-22
町田市議会 TEL. 042-724-2171

<2018年選挙で3期連続トップ当選！ 政党無所属。2016年に議長就任、2018.3満了。所属：保守の会>
URL: <https://yoshidaben.jp/>

☆ インターンに興味を持ったなら、ぜひ上記のアドレスへ、名前、学校名、学年を明記の上、メールを送ってください！ →エントリーシート送付します（応募書類は秘密厳守）



主催コンサートの打ち合わせ(町田市民ホール)

① インターンシップの内容 (希望に応じた研修カリキュラムが特徴)



本会議場で議員体験

本会議の採決はボタン投票

東京ビッグサイト展示会見学

操舵室に乗船体験

上場企業を訪ね社長に挨拶

1. 研修期間：長期の休暇期間や、通常の学業期間の間で空いた日程、休日に研修を行うことが可能。長期、短期は問わないが最低10日間以上。時間は相談可。
2. 応募対象：大学生、院生。住所は町田市以外でも問題なし。
3. 研修日数：週に一日以上。ただし、柔軟に対応。
4. 受け入れ人数：原則、同時に2人前後まで。
5. 参加費：無料。原則、参加者の交通費と食費を支給。
6. 事前の知識：政治的な知識等は一切必要なし。1年生も参加OKで実績多数。将来、政治家志望の必要は全くなし。あくまで社会体験が目的。
7. 活動拠点と訪問先：町田庁舎、東京内外の企業、団体、施設
8. 参加方法：●本人申し込み、家族、過去の参加者の紹介。
●大学からの紹介(単位取得が一部大学で可能)
9. 充実した経験：1998年より研修生の受け入れを継続し、多方面の分野に人材が進出し活躍する。

主な就職先：教育出版、銀行、信金、国会、商社(総合、専門)、自治体、生保、損保、証券、不動産、ITソフト、SNS・ゲーム、国際ビジネスコンサル、化学、航空機材製造、石油資源、マーケティング、番組制作、イベント、食品、物流、航空、旅行、化粧品等の各分野。□教師、管理栄養士、弁護士(3人目)が活躍。□フェアトレード会社を海外で創業して社長(6期生女性)、起業した会社が一部上場企業に飛躍する現役社長(1期生男性) □地方議員が1名 □幾人も海外へ

2020年春季(第45期生)のインターンシップ生の応募を待っています！期間途中の参加もOKです。

*研修メニューはインターン生の希望に沿って考慮します。

詳しい応募要領は裏面も参照してください。チャレンジ希望の学生を歓迎します。2020.1.1 吉田つとむ



吉田つとむ

インターン生が出来ること

体験内容	体験種類	有無	体験項目(吉田は議長も経験済み)
参加	会う	○	研修会、勉強会、イベントの参加
訪問	話す	○	個人、企業、公共施設などの訪問
主催	運営	○	セミナー、コンサートの企画運営
会議傍聴	聴く	○	本会議、委員会などの会議傍聴
調査・視察	観る・書く	○	資料の整理と分析、現地調査
政策立案	書く	○	議会質問の取材・草稿の作成
公報物作成	書く・撮影	○	レポート作成、HP・動画作成
事務	書く、応接	○	市議会会派室などで一部作業
街頭活動	演説・配布	×	インターン生は参加しない
政党関係	活動参加	×	本人は政党に属さず支持政党なし



請願者と紹介議員として懇談



議事堂入口



行政の幹部と面談

3人目の弁護士が誕生し、活躍中



主催したコンサートの演奏家と記念撮影



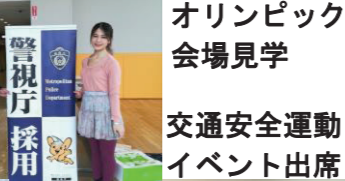
ブラジル大使館訪問(ワールドカップ開催中)



就労支援店舗訪問



オリンピック会場見学



交通安全運動イベント出席



教育系出版社を訪問



町田シルクメロン栽培施設見学



最大手教科書会社を訪問

理系女子は大学院から就職

今までの参加者の大学(院)生って？

太字は3名以上受入の実績
 青山学院大、桜美林大、大原専門、神奈川大、共立女子大、**慶応大**、国際基督教大学(ICU)、恵泉女学園大、駒沢大、芝浦工大、首都大東京、**昭和女子大**、上智大、白百合女子大、成蹊大、成城大、専修大、創価大、**玉川大**、津田塾大、**中大**、帝京短大、東海大、**東大**、東京家政大、東京外語大、東京経済大、東京女学館大(現在、廃校)、東京都市大学、東京薬科大、東洋英和女学院大、日大、東京女子大、一橋大、**フェリス女学院大**、法政大、**明大**、**明治学院大**、早大、(五十音順) *吉田つとむは、1998年～2019年夏までの間に、大学院生を含むインターン生を合計88名(女子54名、男子34名)受け入れています。

町田市議会議員 3期連続トップ当選

吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

中学校給食弁当の不振の究明

第4定例会：一般質問の内容中学校給食弁当

町田市教育委員会の中学校給食弁当に関して行った一般質問に関する続編です。この無料試食実験は好評で実施校では約80%の利用率が実現しています。ただし、その後の利用率は旧来とほとんど変わらず、1-2%の微増が大半で、4月に比べ減少した中学校も出ています。本来は、その無料実験に付加して、最低限でも現行は出されていない汁物を新たに加える等を入れて実施されるべきところ、何の工夫も無く、現行のものを単に無料期間を1週間として終え、元の状態に戻ったという状態です。



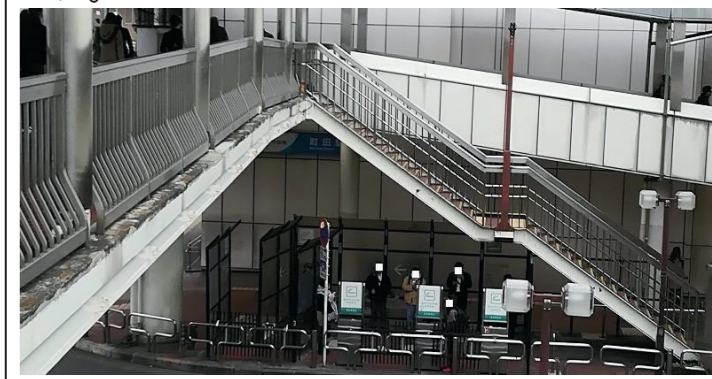
現在の中学校給食弁当は、中学生に味付けが向いていないと思います。栄養価は備わっているのですが、中学生が飛びついて食べたくなるものはどんな味か、そうした発想に欠けているのは明白です。次いで、ご飯やおかずの温度調整が不足、欠けている点です。ご飯はまとめて配達されるケースに保温材が入れてありますが、「ホット」ではありません。冷めてはいないという程度の温度になっています。おかずに関しては、本来、温かいものも、冷たいものも「冷ややか」がベースの温度になっています。

受動喫煙防止と行政の聞く耳

第4定例会：町田市の説明に疑問を持つ

小田急デパート前の路上喫煙所の防煙対策について、前回までの私の質問に対し、市民からの苦情はないと答弁があり、絶句してしまいました。ところが、市議会第3回定例会の所管常任委員会審査報告を聞くと、全員一致で改善を求める付帯意見が出ています。改めて、町田市は市民の意見がまるで聞こえていないのかと思いました。

答弁では、防煙対策の衝立の改善を図ったこと、その後、数件の改善要望があった旨の回答でした。住民要望を元にした考えでは、現在の少なくともパーテーション型を廃止して、非喫煙者と喫煙者が隔離した閉鎖型喫煙所の設置に改善されるべきだと理解しました。その設置方法として、土地は自治体側が提供しても、閉鎖型喫煙所の設置費用は、タバコ(電子タバコを含む)を販売するJT側に全額負担してもらおう手段が講じられるべきだと述べました。なお、この質問に当たって、私は、約2時間強にわたって、その小田急デパート前の路上喫煙所の隣接場に動かずにいて、観察をしました。大半の時間は10人以上がその中で喫煙。最高20人近くになっていました。



★吉田つとむのインターンシップは1998年开始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★大学生・院生を対象に、議員調査活動の同行を通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。